

情報のよき創り手、よき使い手を育てるために

校長 青木 あゆ子

梅雨の合間に気温の高くなる日があり、早くも「熱中症嚴重警戒」という言葉が聞かれます。学校では、雨と熱中症警戒アラートの合間を縫って、水泳学習や校外学習を慎重に進めています。

さて、私たち大人が小学生だった頃に比べると、社会は急速にデジタル化が進んできています。学校教育においても、子どもたち全員に学習者用 PC 端末が貸与され、授業の中で使うことが増えてきました。Society5.0 の社会で生きる子どもたちにとって、将来学ぶ上でも仕事をするうえでも、情報モラルを知って ICT を使う力は不可欠だと言われます。

家庭での LINE や Tik Tok 等 SNS のトラブルから友達関係が悪くなる話をときどき聞きますが、それらは12歳以下の使用が禁じられています。実際の書き込み等のトラブルはご家庭の責任範囲となりますので、親子でしっかりと学びながら、便利なところは活用していくという意識が必要です。ネット社会を渡り歩く上で、情報モラルの知識や技能は、だまされたり傷ついたりしないようにするために、とても大切はものです。『情報モラルを知らずにインターネットを使うことは、車の運転免許をもたずに高速道路を走るようなものだ。』と例えられています。

学校では、一般的な SNS などの便利さや危ない使い方について、情報モラルを学習します。GIGA の学習端末も使っていくといろいろとトラブルも出てきますが、川崎市のセキュリティ設定や学習の中で子どもたちの端末活用を見守り、指導しながら使わせます。そうすることで、情報モラルを知らずにインターネットの世界に出るような危険を避けることができると考えています。

また、一人一人の興味や関心、学ぶ力や好きな教科など子どもによって、また成長するに従って、大きく違ってきますので、個別に最適な学習を行えるようにすることも必要となってきます。そこで稲田小学校では、高学年から順に GIGA 端末を毎日家庭に持ち帰って家庭学習やその子の興味や関心に即した調べ学習をおこなえるようにしていきたいと思えます。詳細は、後日おたよりを出しますので、そちらを参照してください。家庭での端末管理や充電等で、お手数をおかけすることとなりますが、子どもたちが将来、情報のよき創り手となり、よき使い手となれるよう、ご家庭のご理解とご協力をお願いいたします。

川崎市制100周年 豆ちしき③

今年7月1日に川崎市は市制100周年を迎えます。昭和20(1945)年、川崎大空襲により川崎の中心部や工場群は焼け野原となり、その後、戦後の復興を経て高度経済成長期を迎えます。川崎市の臨海部では、埋め立て地の造成が行われて、石油化学などの重工業や製造業などが発展しました。